



生方金一 うぶかた きんいち  
 武蔵野美術大学短期大学(芸術デザイン科)を卒業  
 テレビセットデザインの会社を経て、故郷の群馬県で店舗の設計施工の会社を経営



**受賞の言葉** ここ15年くらい身近にいる職人たちの作業風景を絵に描いてきました。“職人の風景”というタイトルで今回応募した作品は上棟式の風景を描いてみました。昔の上棟式の職人たちの(スタイル)は半纏(はんてん)にねじり鉢巻という姿でしたが、現在はヘルメットにTシャツといった姿になってしまい、昔とだいぶ違っていますが、職人たちも普段のときとは違い、上棟式となると大工、鳶職、屋根屋などその他大勢の応援の人たちが集まっての共同作業になり、その様子は力強く活気に溢れ、皆、生き活きとしていてまるで祭りです。全体の構図も次々に変化することで絵の題材としては大変面白く感じ、また、木造建築の上棟式なので、木の持つ独特な木目の美しさに重なり全体が力強く感じられ、この緊張した雰囲気を少しでも出せればと思い、モノクロで表現してみました。これから先、受賞をきっかけに身近にいる職人たちを力強く描いていきたいと思っています。

